

取扱説明書



DRESTER1000M

ドレスター1000M アクアガンクリーナー



製品を使用する前に、取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから使用してください。この取扱説明書は、いつでも使用できるように大切に保管してください。

YUKO
The most reliable distributor.

株式会社ユーコー・コーポレーション
〒167-0033 東京都杉並区清水 2-22-15
TEL03(3301)0511(代) FAX03(3301)0519

10.09.17 YUKO

1. はじめに

この度は、DRESTER - 1000M アクアガンクリーナーをお買い上げ戴きましてありがとうございました。本機は水性塗料用スプレーガン洗净するための水性塗料専用ガンクリーナーです。水性ガンの洗净は、水道水を使用してブラシまたは洗净ガンで洗い落とすことができます。洗净後の塗料は凝集沈殿過程を通して凝固させ、固形化させることで、廃棄物として処理することができます。詳しくは、この取扱説明書をよく読んで、正しくご使用くださるよう、お願い申し上げます。

警告

この取扱説明書では「警告」「注意」について次のような定義と注意表示をしています。

警告表示は安全作業のために重要な事柄です。

 警告・・・取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷及び火災等重大な物的損害を負う可能性が想定される場合。

 注意・・・取り扱いを誤った場合に、使用者が障害を負う危険が想定される場合及び物的損害の発生が想定される場合。

オペレーター注意事項

- コンプレッサーからのエア供給が正しいことを確認してください。(5 ~ 12 bar)
- 洗净後の水は再利用することができますが、濃度が上がるため、一般下水道には排水できません。洗净後の汚水は、各地域の条例に従って処分してください。
- 攪拌と凝集沈殿後の塗料材は、完全に固形化させた後、プラスチック材として各地域の条例に従って廃棄してください。
- 本機を許可なく改造すると、故障原因になります。
- 純正品以外の部品の使用は、思わぬ故障の原因となります。必ず純正品を使用してください。
- 本機は水性塗料専用のガン洗净機です。水性塗料以外のガン洗净および他の用途には使用できません。溶剤は、水あるいは水性溶剤を使用し、シンナーなどの溶剤を使用すると重大な故障の原因になります。
- 本機は必ず屋内で使用してください。また、雨・水に濡れたり、油脂・薬剤がかかると、思わぬ故障の原因になりますので注意してください。
- 本機を使用する際は、安全メガネ・手袋を着用してください。

2. 仕様

DRESTER - 1000M アクアガンクリーナー <水性塗料用ガンクリーナー>	
容量	35リットル
使用空気圧	0.4 MPa
本体重量	約24 Kg
洗净ブラシ水量	1.5 ~ 2.0リットル / min
洗净ガン水量	1.5 ~ 2.0リットル / min
寸法	590mm × H1,220mm
騒音レベル	最大83db(本機より発生)

3. 目次

1. はじめに	1
2. 仕様	1
3. 目次	2
4. 組立及び接続	3
4 - 1. 組立	3
4 - 2. 接続	3
5. 各部の名称	4
6. 使用方法	5
6 - 1. 洗浄	5
6 - 1 - 1. ブラシによる洗浄方法	5
6 - 1 - 2. 洗浄ガンによる洗浄方法	5
6 - 1 - 3. 濾過水を洗浄ガンで使用する場合	6
6 - 2. 濾過水用タンクを空にする	6
6 - 3. 攪拌と凝集	6
6 - 4. 濾過	7
6 - 5. 凝固	7
7. フィルターの交換	8

4. 組立及び接続

4 - 1. 組立

本機は、ダンボール箱に梱包されています。開梱して本機を取り出してください。

組立てに必要な工具は、10mm及び12mmのスパナと六角レンチです。5ページ図2を参照にバルブコンソールをM6ナット4個で本体に固定します。バルブコンソールを取付ける際は、ホースを潰さないように十分注意してください。ブラシ用流水ペダル、ブラシ及び洗浄ガン为本機に組み付けてください。

4 - 2. 接続

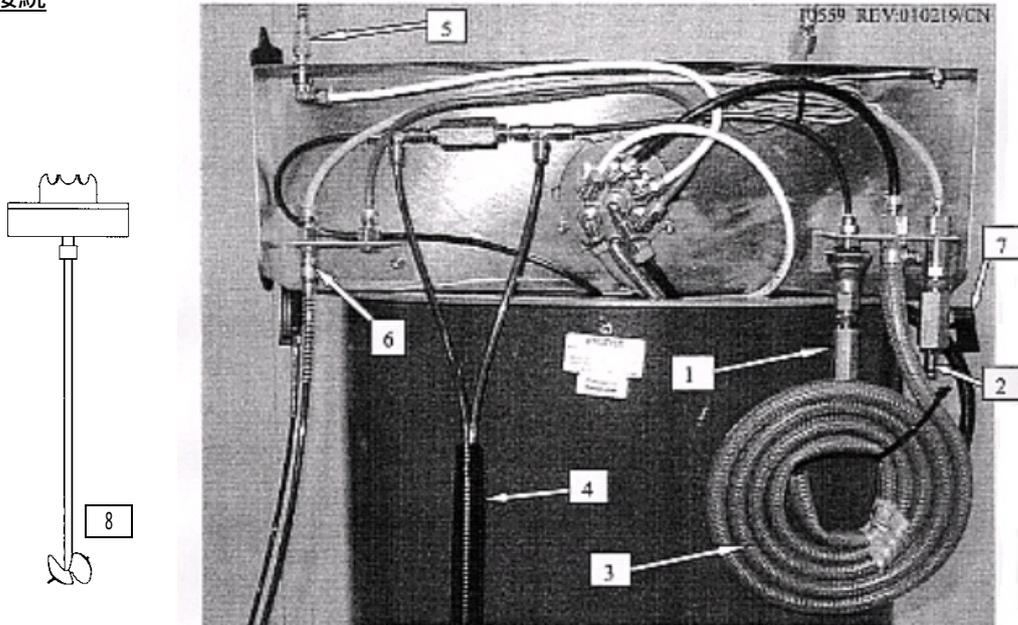


図1 接続図

1	エアインレット	2	ウォーターインレット	3	排水ホース	4	バルブホース
5	洗浄ブラシホース	6	リンスガンホース	7	安全弁	8	ミキサー

図1を参照に、機械のエアインレット(接続口) 1 に0.5～1.2MPaのコンプレッサーからのエアを接続します。

機械のウォーターインレット 2 に冷水を接続します。

機械に排水ホース 3 を接続します。

ミキサー 8 のプロペラシャフトを差し込み、六角レンチで止めてください。

機械に静電気が発生しないように、アース線を接続します。

ノート

特別な安全装置として、機械にはシャットオフバルブ 7 を水道水接続口に取付けてあります。水道水用コネクターには、常に水道水の水圧が掛かります。水圧による損傷をなくすために、毎回この安全弁バルブを必ず閉めてください。

⚠ 注意

ダイヤフラムポンプ吐出側の一部ホースは、圧力を逃がすためのホースです。このホースは、どこにも接続させていない状態で、タイラップで止めています。このホースのタイラップは絶対に外さないでください。

外してしまうと圧力が低下し、作業時にブラシやリンスガンから水が出なくなり、このホースから水が出てしまいます。

5. 各部の名称

本機をご使用になる前に、本機の名称(図2)及び、本機正面バルブコンソール名称(図3)をご理解ください。

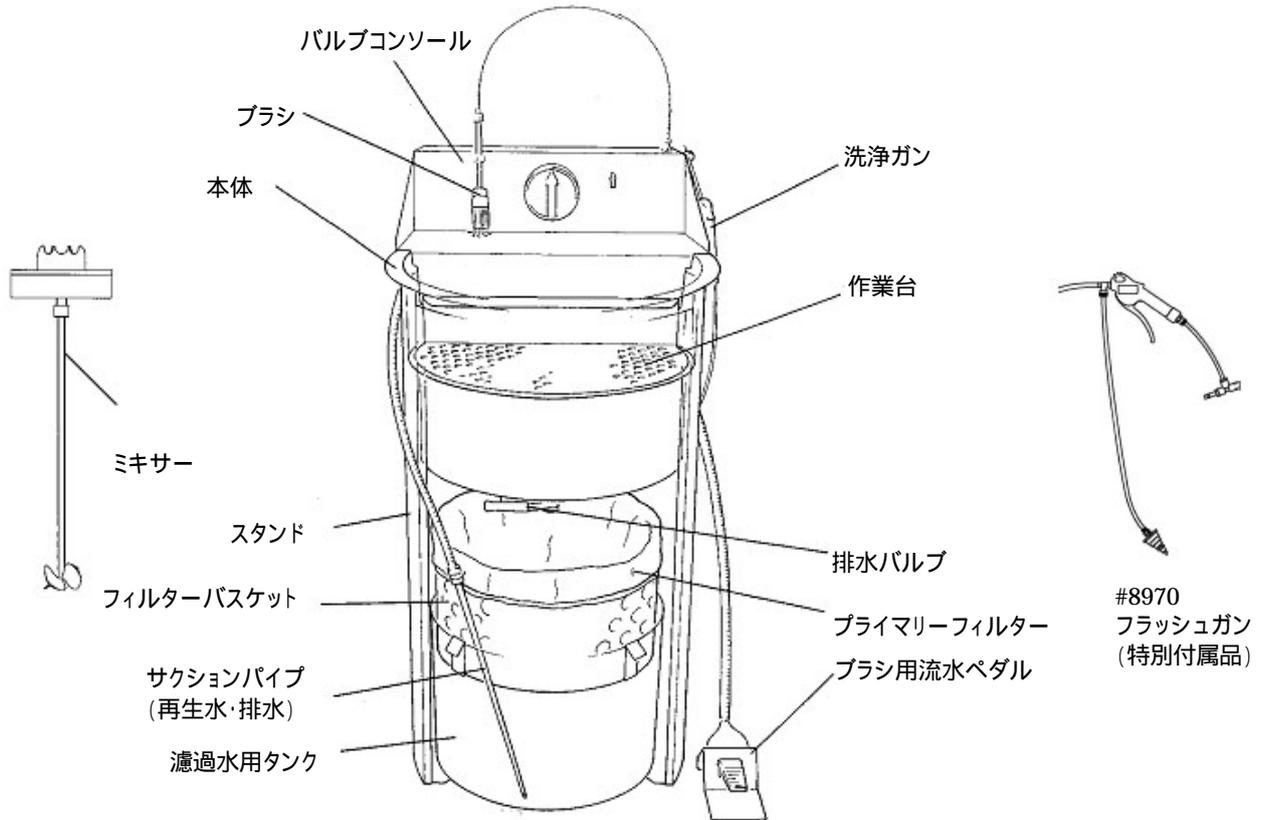


図2 本体名称

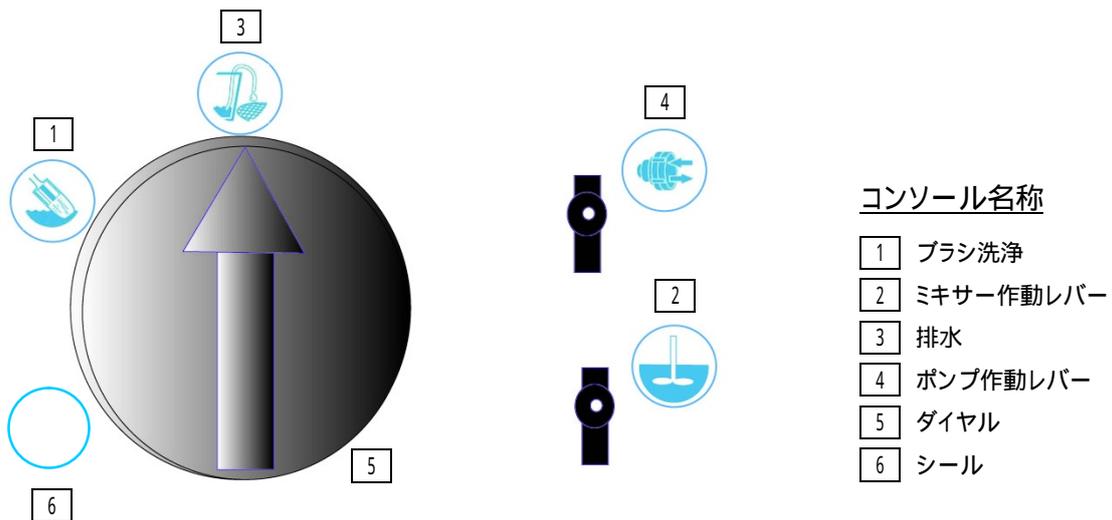


図3 コンソール名称

6. 使用方法

⚠ 注意

機械を始めて使用する時は、濾過水用タンクに、3 / 4位まで水を満たしてください。
スプレーガン洗浄は塗装終了後、なるべく早く行ってください。時間が経過すると洗浄に時間がかかったり、洗浄できなくなる場合があります。

6 - 1 . 洗浄

6 - 1 - 1 . ブラシによる洗浄方法



図4 ブラシ洗浄

塗装が終了したスプレーガンの中に残っている塗料を別の容器に移してください。
スプレーガンを本機の作業台に置いてください。
バルブコンソールのダイヤルを「ブラシ洗浄」の位置に回します。
ブラシ用流水ペダルを踏み込んで、ポンプを起動させます。水がブラシに送られます。
ブラシの中から水が出ますので、図4に示すようにスプレーガンをブラシでこすり洗いしてください。水は、ブラシ用流水ペダルを離すことにより、直ちに止められます。

6 - 1 - 2 . 洗浄ガンによる洗浄方法



図5 洗浄ガン

安全弁(図1#7)のバルブを開いてください。スプレーガンの引き金を開いたままで、図5に示すように洗浄ガンのスプレーガンの塗料通路に押しあてて、内部の塗料通路を洗い落とします。
その後スプレーガンの残りの部分全体を洗います。

注釈 オプションで#8970 フラッシュガンを用意しています。きれいな水を使用して、仕上げ洗いを行うことができます。

ノート

ダイヤルを他の位置に回す時は、いつも“カチッ”と音がするまで確実に回してください。
本機は、ブラシと洗浄ガン双方で再生水を使用することも出来ます。

6 - 1 - 3 . 濾過水を洗浄ガンで使用する場合

濾過水を使用する場合は、図6に示す 印の部分のシールをはがしてください。右図に示す、洗浄ガンのマークが現れます。ダイヤルをこの位置に回すと、濾過水用タンクの洗浄水をガンから噴出することができます。



図6 洗浄ガン

ノート

濾過水用タンクの洗浄水を使用するためには、一部ホースを入れ替える必要があります。詳しくは、本機を購入した販売店にお問い合わせください。濾過水を再使用できるのは、塗料成分や、凝集材の量(濃度)によって異なりますが、およそ3～6回です。濾過水にぬめりが出た場合は、濾過水の再使用を止め、汚水として処理してください。

6 - 2 . 濾過水用タンクを空にする

洗浄で使用した水の水位が作業台まで達しましたら、凝集沈殿作業を行ないます。この行程を行う前に、まず濾過水用タンク内の水が完全に排水されていて、空になっていることを確認してください。ダイヤルを排水の位置に回し、ポンプ作動レバーを開けます。ポンプにより濾過水用タンクから、サクシオンパイプを通して排水します。

濾過水用タンクが空になりましたら、ポンプ作動レバーを閉じます。容器が空になりますとポンプがエアを吸い込む音が聞こえます。エアの吸い込みはポンプに害を与えることはありません。

6 - 3 . 攪拌と凝集

洗浄で使用した水の水位が作業台まで達したら、攪拌と凝集作業を次の手順で行ないます。

作業台を外します。濾過水用タンクから水を吸い上げないようにサクシオンパイプを持ち上げます。

図7に示すミキサー作動レバーを開いて、ミキサーを回転させて水を攪拌します。

それぞれの塗料に見合った凝集剤を水に加えます。凝集剤の説明書が手元にない場合、一般的にはおおむね本体に一杯溜まった水に対し、150～175グラム(1.7～2.0dl)の凝集剤を使用します。凝集剤は注意深く攪拌してください。

ミキサー及びポンプは2～3分間回し続けてください。この攪拌により、底に沈んだ凝集剤を活性化することができます。

攪拌作業中(2～3分回した後)に30秒間ミキサー作動バルブを閉めて、攪拌を止めます。このことにより、凝集を効果的に行い、塗料は沈殿します。総攪拌時間は、凝集剤の量・汚れの程度にもよりますが、およそ5～10分です。

ノート

凝集材の使用方法は、塗料メーカーから出されている説明に従ってください。攪拌と凝集行程では、水性塗料の大きな固まりができるように、注意深く行うことが非常に大切です。小さな固まりでは、フィルターが直ぐに詰まり、再使用できなくなります。



図7 ミキサー作動レバー

6 - 4 . 濾過



図8 排出バルブ

攪拌と凝集が終了し、水性塗料が固まった状態で沈殿したら、濾過を行います。

排出用バルブを開き、図8に示すように凝集沈殿した水を濾過して排水します。排水後の濾過水は再利用することもできます。濾過水を再利用できるのは、3～6回程度です。

プライマリーフィルターで大きな沈殿物を回収し、メインフィルターで細かい汚物を回収します。フィルターに溜まった残留塗料を除去してください。

排水が終了したら、本機の内部をブラシで清掃し、残余物はすべてフィルターへ排出します。

最後に排出用バルブを閉じます。これで本機の次回使用準備ができました。



注意

洗浄後の汚水は、地域の条例に従って処分してください。

6 - 5 . 凝固

プライマリーフィルターで回収した沈殿物(塗料材)は、十分に乾燥させることにより固形化します。完全に固形化させた後は、一般プラスチック材として分別廃棄することができます。



注意

凝集沈殿後の塗料材をプラスチック材として廃棄する場合は、完全固形化させてください。固形化した塗料材(プラスチック材)を廃棄する場合は、各地域の条例に従って廃棄してください。

7. フィルターの交換

図9に示すフィルターを参照してください。



図9 フィルター

メインフィルター、プライマリーフィルター共に原則的には毎回交換ですが、濾過が問題なくできるのであれば、再利用できます。再利用する場合でも、メインフィルターは、5回程使用したら、新品と交換してください。プライマリーフィルターは10回程使用したら新品と交換してください。

但し、目詰まりが起きて、濾過が正常にできない場合は、速やかに交換が必要です。また、一度使用したフィルターを長期間使用しない場合、カビが発生したり、異臭を放つことがあります。特に梅雨時や夏季は、短期間でもカビが発生することがありますので、注意が必要です。長期間使用しない場合で、フィルターを再使用したい場合は、フィルターを外して天日干ししてください。

フィルターの交換時期は、塗料の種類、洗浄液の濃度、洗浄液の量等の要因で変わります。濾過を正しく行うためにも、早めに交換されることをお勧めします。

< 部品番号: R8701 メインフィルター 5枚入り R8702 プライマリーフィルター 5枚入り >



注意

フィルターは必ず純正フィルターをお使いください。純正品以外のフィルターを使用すると故障の原因になります。